

弓ヶ浜・白砂青松そだて隊10年のあゆみ



弓ヶ浜・白砂青松そだて隊の結団式(平成24年4月25日)

鳥取県西部総合事務所
農林局農林業振興課

1. 平成22年大みそかの豪雪被害

雪害前



雪害後



平成22年大みそか～平成23年元旦にかけての豪雪で6,000本以上の松が甚大な被害を受けた。

1. 平成22年大みそかの豪雪被害



米子市で観測史上最高の89cmの積雪を記録



雪の重みで船も沈没



鉄塔が倒壊



農作物への被害

1. 平成22年大みそかの豪雪被害



雪害後の2月～3月に「白砂青松復活ボランティア」として県内外から延べ約800人以上が参加し、雪害木の撤去や枝の片付けを実施（計5回）。



2. 「弓ヶ浜・白砂青松アダプトプログラム」のスタート

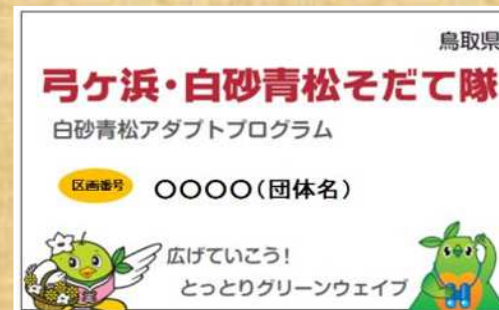


- ・雪害後のボランティア活動をきっかけとして、平成24年に「弓ヶ浜・白砂青松アダプトプログラム」がスタート。
- ・「アダプト」とは「養子にする」という意味で、弓ヶ浜松林を企業・学校・ボランティア団体などが愛情をもって主体的に育ててもらいたいという思いを込めて命名。
- ・それぞれに活動する区画（全25区画）を割り当て、植栽、草刈りなどの活動を実施。
- ・参加団体は「弓ヶ浜・白砂青松そだて隊」として活動中。



(各区画に団体名を記載した看板を設置)

(ロゴマーク)



2. 「弓ヶ浜・白砂青松アダプトプログラム」のスタート

結成1年目（H24）の活動風景



「そだて隊」は平成24年の結成当初30団体、2,181人で、マツ苗木の植栽を中心に活動を開始。

R5の活動風景



- ・令和5年には40団体、2,472人にまで活動の輪が広がっている。
- ・作業内容も植栽以外に草刈り、清掃、枝打ち、樹幹注入と幅が広がっている。

3. 令和5年度(R5.4月～R6.2月)の活動状況

令和6年3月1日現在

区分	活動者	活動回数 (延べ)	活動人数 (延べ)
ボランティア活動	そだて隊	63回	1,022人
ボランティア・プラス活動	そだて隊 + 外部の者	8回	467人
合計		71回	1,489人

※ボランティア活動

そだて隊が弓ヶ浜松林で行う保全活動

※ボランティア・プラス活動

そだて隊が外部の方に呼びかけて協働で行う保全活動や交流活動

3. 令和5年度(R5.4月～R6.2月)の活動内容

令和6年1月13日(土)「地域で取り組む海岸松林保全対策セミナー」
(講演:倉吉未来中心 現場研修:北栄町海岸松林)

講演



現場研修：樹幹注入作業



- ・近年、県中部での松枯れ被害が拡大。
- ・「アダプトプログラム」活動を参考に、中部のボランティア団体が松林保全活動の実施について検討中。
- ・先行事例として、「地域で取り組む海岸松林保全対策セミナー」で和田町マツ守り隊の安達代表が講演。
- ・北栄町の海岸松林で、樹幹注入作業の現場研修を実施。

4. 10年間(H24.4月~R5.3月)の活動の成果

活動日(延べ): 1,115日

参加者(延べ): 31,006人

植栽本数: 28,110本

5. 「アダプトプログラム」、「そだて隊」のあゆみとこれから



令和4年度にアダプトプログラム10周年を迎え、各地で紹介パネルの巡回展示を実施。

5. 「アダプトプログラム」、 「そだて隊」 のあゆみとこれから

植栽後2~3年



植栽後10年程度



植栽から10年を経過した箇所は木が大きくなり、鬱蒼として中に入れないところもある。

「植栽、草刈り」から「除伐、間伐」へとフェーズが変化